

# 人材開発グループ基本方針

担当副理事長 星原 英樹

「明るい豊かな社会」の実現を柱として先輩達より受け継がれた伝統を基に日々活動し、本年で55年目となります。しかし、現在全国的に問題となっている会員減少は、この都城にも訪れています。この問題を食い止めるには、青年会議所の魅力を内外に発信していくことが重要です。その為には、メンバーが活動する上で自らの企業をしっかりと安定させ、切磋琢磨できる豊富な人材を確保し、自己成長できる機会を設ける必要があります。

まずは、多くの同志を迎え入れる為にメンバー全員が青年会議所の魅力を語れるようにならなければなりません。そして、早い段階で円滑に行動できる計画を立て、実行に移します。ただし、闇雲に会員拡大をするのではなく、それぞれのメンバーが自己成長できる仕掛けを指導力の要素を基に行う必要があります。また、勇気を出して一歩踏み出してくれた新しい同志に対しても1年毎に成長できる仕組みを組織として構築します。さらに、会員拡大と自己成長の仕掛けを次年度以降も継続していくことのできる土台を確立します。次に、青年経済人で構成されている我々の中で、経営に興味のないメンバーは一人もいません。また、会員拡大をする上でも経営力というワードは大きな武器となります。しかし、この青年会議所は様々な業種、立場のメンバーが集まっている為、経営力の事業を構築する際、全てのメンバーに実りある機会を生み出すことは、容易ではありません。そこで、全てのメンバー企業に共通する点を調査・分析し、漠然とした思考を具体的な目標に向けてどう動けばよいのかというスキル「実践力」を養うことのできる事業を構築します。

全ての出会いは偶然ではなく必然です。必然で出会ったメンバー同士がこの学び舎で切磋琢磨し成長することで、この地域の小さな灯りとなり、さらにその灯りを増やすことによって、今までに見たことのない景色を照らします。明るい豊かな社会の実現を目指して。